

まちの皆様インタビュー！

このコーナーでは、宮代町に在住・在勤・在学など宮代町に関わる方々にお話を伺っています。

今回のインタビューは、沖縄県今帰仁村の副村長・比嘉克雄さんです。今帰仁村には、進修館と同じく「象設計集団」が手掛けた中央公民館があります。開館50年を迎える中央公民館の存続と利活用を検討する中で、進修館を視察したことを機に、進修館と今帰仁村の方々とのゆるやかな交流が始まっています。そのいきさつなどを中心に、お話を伺いました。

【価値ある中央公民館を大切にしたい】

比嘉さんは以前から、象設計集団が今帰仁村中央公民館の建設や地域計画の作成のために今帰仁村に長期滞在して入念なフィールドワークをしていたこと、地域住民が自らの暮らす地域を作り上げていく「自力建設」という考え方が設計に取り入れられていることなどを耳にしていたそうです。現職になり、老朽化が進んだ中央公民館を建て替えるのか存続させるのかという議論があがった際にこのことを思い出し、むらづくりの理念がこもったこの建物を残していきたいと思ったそうです。

【進修館を視察し、思いが強まる】

中央公民館は建築的に高く評価されていますが、今後も存続するためには、公共施設として地域の人々がその価値を実感し、利活用することが大切です。様々検討を重ねる中で、象設計集団が手掛けた建物を活用している現状を見てみようということになり、比嘉さんは村役場の方々と2022年秋に進修館を視察しました。「訪れてみて、自力建設や自然を取り入れるなど象設計の理念が生かされていると感じ、またそこに関わる人との交流を通して、中央公民館を残し、そこに込められたものを伝えていきたいとの思いが強まった」そうです。

【草の根的な交流を】

この視察を契機に、進修館と今帰仁村中央公民館とのゆるやかな交流がスタートし、そして来る11月4日、今帰仁村の子どもたちが所属する舞踊集団「北山の風」と「いまじん太鼓」の進修館公演が決定しました。「沖縄の文化や今帰仁城跡の歴史をベースに琉球舞踊やエイサーを織り交せて演出さ



今帰仁村では大型レジャー施設建設が予定されていますが、「そのことに一喜一憂したり依存することなく、地域のシビックプライドを醸成していきたい」と比嘉さんは話していました。

れている『北山の風』を通じて今帰仁の文化に触れてもらえたら」と話す比嘉さん。「建物のつながりから始まる草の根的な交流から、人やものの往来や絆ができ、それぞれの建物を住民が大切にしていけたらいい」と今後への思いも話していました。



今帰仁村中央公民館周辺エリアでは、中央公民館の再整備も含め、村の魅力発信や地域住民と観光客等との連携交流、地域の生活拠点とするための整備事業が進んでいます。



8月13日～30日、中央公民館には手作りのペットボトル風鈴2800個が回廊に飾られ、訪れた地域の人々が建物への関心を寄せるきっかけづくりとなっていました。(撮影：比嘉克雄さん)

参加者募集！ 宮代町民俗舞踊連盟といっしょに、今帰仁のみなさんを舞踊で歓迎しよう！

11月4日（月祝）に大ホールで開催される、「現代版組踊 北山の風 with 今帰仁子ども太鼓いまじん 公演」の会場で、宮代町民俗舞踊連盟のみなさんと「宮代音頭」「南中ソーラン」を踊って、今帰仁のみなさんを歓迎する舞踊チームのメンバーを募集します。舞踊チームに参加いただける方は、公演チケットの割引があります。
(一般：300円引き、小学生以下：200円引き)



宮代町民俗舞踊連盟

舞踊チーム練習会

日時：10月20日（日）14:30～16:30
場所：大ホール
参加費：無料
申込：進修館受付まで（〆切 10月10日）

上記練習会にご参加をお願いします。



現代版組踊「北山の風」



今帰仁子ども太鼓いまじん

進修館 × 今帰仁村中央公民館 交流記念企画

2024/11/04（月祝）開催！

めんそ〜れ！ 沖縄県なきじんまつり in 進修館

「設計者が同じ」ということがきっかけで、2022年から緩やかに交流をしている進修館と、沖縄県今帰仁村中央公民館。これまでは施設の運営などの情報交換などを行ってきましたが、この秋、初めての文化交流イベントを開催します！

現代版組踊 北山の風 with 今帰仁子ども太鼓いまじん 公演

日にち：2024年11月4日（月祝）
時間：開場 13時30分 開演 14時
会場：大ホール
チケット：前売り 一般 1500円（当日 1800円）
小学生以下 500円（当日 800円）

9月1日より、
進修館受付にて前売りチケット販売開始！

今帰仁村事業者による物販

今帰仁村の事業者のみなさんが、選りすぐりの商品を携えて進修館にやってきます！「今帰仁ONLY」の販売イベントは宮代町初の試み。やんばるの豊かな食と製品をお楽しみください。

日にち：2024年11月4日（月祝）
時間：11時～17時（売り切れ次第終了）
会場：大ホール前



【現代版組踊 北山の風】

今帰仁村にある世界遺産「今帰仁城跡」が北山グスクと呼ばれていた時代…。時は1416年、琉球は三山時代の終わり頃、北山と中山との間に戦が起こります。北山王朝最後の王「攀安知」と北山の山狗と呼ばれた副将「本部太原」との確執、そして、王の忘れ形見である「千代松」の仇打ちを芝居やダンス、空手や琉球舞踊を織りませ描いた、知られざるもう一つの北山落城の物語です。



【今帰仁子ども太鼓いまじん】

今帰仁村出身の子どもや大人達による結成21年を迎える太鼓集団。パーランクーや大太鼓など琉球太鼓の演奏や、幻想的な舞による創作演舞をぜひご覧ください。



【コミュニティセンター進修館】

1980年建築。設計は「象設計集団」。「世界のどこにもないような空間」「世界の中心」を意識して設計されています。すり鉢状の芝生広場を囲むように立っており、窓が多く館内にたくさん光が差し込むよう工夫されています。

【今帰仁村中央公民館】

1975年建築。設計は「象設計集団+アトリエ・モビル」。芝生広場を囲むように立つ平屋建てで、林立する赤い列柱が特徴的です。各部屋を分散して配置し回廊を増やすことで風が吹き抜けるように工夫されているそうです。